

Shintoshin Weekly

〒160-0023 新宿区西新宿2-7-2 ハイアットリージェンシー 東京11階
 TEL : 03-3340-3555 FAX : 03-3340-3554
 HP : <http://www.tokyo-shintoshin-rc.org> E-mail : shintoshin-rc@par.odn.ne.jp
 会長 北岡修一 幹事 佐原目朗 創立 : 1988年9月21日



「新年を迎えて」

会長 北岡 修一



皆様、あけましておめでとうございます。

昨年は令和という新しい時代を迎え、また、当クラブも創立30周年を終え、新たな時代に入って来たのかと感じております。

当クラブでは様々な奉仕事業を行っておりますが、昨年、新たに「**ブラインドサッカー 障がい者観戦支援事業**」を提唱し、地区補助金事業の推薦を受けることができました（財団本部の最終決定は5月～6月になります）。年度後半においては、ブラインドサッカーに関する卓話も是非実現し、オリンピック・パラリンピックにつなげていければと思っています。

また、2月12日・13日は、沖縄で地区大会が行われますが、その前日に行われるロータリーデーでは、当クラブもブースを出展し、ネパール、カンボジアの各事業、そして昨年の30周年記念事業などのパネル展示を行います。当日参加できる方は是非いらしていただければと思います。

特にSmile & Dream Garden事業は、「**意義ある奉仕賞**」として、地区大会にて表彰される予定です。Smile & Dream Gardenについては、現在、新宿中央公園のリニューアル工事に伴って休止中ではありますが、3月後半に小学生と共に、再度植え替えをして再スタートする予定です。

その他、下半期も様々な事業がありますので、是非、皆様のご協力をいただき、下半期も充実した年度にしていければと思います。何卒よろしく願いいたします。

幹事 佐原 目朗



新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

令和元年7月から北岡会長のもとで幹事の大役を務めさせていただき、気が付けばあっという間の半年でした。上半期を振り返りますと、ブラインドサッカー協会への訪問と地区補助金申請、秋の親睦旅行会、ガバナー訪問、中学生の職場体験、米山奨学生との食事会、ファイヤーサイドミーティング、秋の親睦ゴルフ会、委員会・会員主体の催し、そして年末のクリスマス家族会と、会員皆様のご協力・東京新都心ワンチームがあって無事活動することが出来ました。本当にありがとうございました。

下半期は上半期にも増して活動がごございます。新宿シティハーフマラソンに始まり、沖縄の地区大会、米山梅吉記念館訪問、職場訪問、西新宿小学校とのsmile&dreamガーデンへの花の植樹、日台親善会議、家族旅行会、5クラブゴルフ会、環境保全のフィールド見学会、ファイヤーサイドミーティング、音楽と防災の集い、ホノルルの国際大会等と、東京オリンピック直前まで行事が盛りだくさんです。まだまだ未熟な幹事でございますが少しでも会と会員の皆様のお役に立てるように努力いたしますので、皆様のご指導ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

第1454回例会 1月8日（水）

「新年を迎えて」
 北岡修一会長 佐原目朗幹事
 年男（子年）会員

次回のプログラム

第1455回例会 1月15日（水）
 「第3回クラブ協議会①」
 クラブ奉仕委員会各委員長

新年を迎えて／年男(子年)会員

岩橋 一 会員



今年で子年の7周目、84歳になります。おかげ様で糖尿病以外は命に係わる大病もせず無事長生きしております。

時代が変われば世代も変わり、価値観、考え方も変わってきます。改めて時代を振り返り自分たちは何世代だったのかを調べてみました。昭和元年より昭和9年迄を(昭和一行世代)と呼び少年兵として戦争に参加した方もいました。

昭和10年より昭和21年生まれ、自分の世代は(焼け跡世代)として分類されていることを初めて知りました。さらに焼け跡世代は(少国民世代、戦中生まれ世代、安保闘争世代、全共闘世代)細分化されております。幼少期を焼け跡の中で厳しい時代を生き延びてきたことを感じました。その後昭和21年より団塊の世代、バブル世代へと続いていきます。

もう一つ時代を振り返るにはオリンピックがあります。昭和11年にはベルリンオリンピック、ヒトラーの時代です。当時の映像を見るたびにこのような時代に生まれたのだと感じます。オリンピックは4年ごとですので必ず子年にはオリンピックが開催されます。今年は皆さんと賑やかに観戦出来るとの事、楽しみにしております。本年もよろしくお願いいたします。

伊藤 道男 会員



皆様あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

昭和23年(1948年)生まれの子年で、2月18日で72歳になります。昭和22年生まれから昭和24年生まれの真ん中で、いわゆる「団塊の世代」と呼ばれ、生まれ年では、最も人数の多い年です。多い人数のせいで、子供の頃から受験等あらゆる面で厳しい競争にさらされ、今日高齢期を迎え、医療介護、年金等で国の予算を食い潰す、最も扱いにくいお荷物世代と言われております。

占い師による子年生まれの性格と特徴を10ほど挙げますと、

1. 柔和で明るい
2. 真面目で実直
3. 几帳面
4. 忍耐強い
5. 儉約家
6. 適応能力がある
7. 本音を言えない
8. たまに爆発することも
9. 問題から逃げる面も
10. 意外に好き嫌いが激しい

ということのようです。自分では自覚すること、ほとんど有りません。

子年のオリンピックイヤー、素晴らしい1年となりますように!

白坂 桂一 会員



1948年鹿児島県の片田舎で生まれ、本年72歳になります。

当時の田舎は、今の車社会とはほど遠く、移動にはバスが中心でまだ農作業は牛が一番の働き手でありまして当時のほのぼのとした、のどかな光景が思い浮かび、最近頃に幼い頃が懐かしく思い出されるようになったのは歳を取ってきた証左かなと思います。しかし現実には妻から“檄”を飛ばされ、今年も牛のごとく働かされそうな一年となりそうです。

本多 良美 会員



1月27日で60歳となります。自分でも信じられませんが、還暦です。

60歳は本厄の厄年となります。特に地区幹事を経験した先輩は健康を害したり、事業の継続ができず、ロータリークラブを退会される方が目立っています。今年は気を引き締めて、健康な身体、健康な事業運営にまい進していきたいと思っております。また、7月からはガバナー補佐を務めさせていただきます。RIは慈善団体としての規模拡大を目指しています。一方、日本のロータリー、特に我々の地区では、目先の利益を追求するのではなく、顧客や社会に対して貢献できる事業を展開することにより、結果として利潤はついてくるといった、ロータリーの理念、もしくは職業奉仕の考え方に偏重している面があり、そのギャップは日に日に拡大しています。

そういう意味では、ガバナー補佐の役割も拡大しており、その存在意義を問われる時代になっていると思っております。皆様のご指導、ご協力を何卒よろしくお願いいたします。